



五福っ子



令和7年7月3日発行 No. 4

毎日を 安全に 過ごそう！

5月19日(月)21日(水)の2日に渡り、交通安全教室を行いました。

19日には、1, 2年生を対象に「安全な歩き方」を、21日には、3～6年生を対象に「安全な自転車の乗り方」を、市の交通安全課から2名の指導員をお招きし、指導していただきました。

誰しも「自分は事故にはあわない・起こさない」と思っているのですが、予防は大切です。今回学んだことを日頃の生活に生かしてほしいと思います。



突然の危機に 自分で身を守る

5月20日(火)には、給食場からの出火を想定した、火災の避難訓練を行いました。

非常サイレンが鳴ると、校舎内がしん…と静まり、訓練を告げる放送が流れ、「避難開始。」の掛け声と同時に、一斉に動き始めました。机の横に掛けた赤白帽をかぶり、ハンカチを出して口を隠し、静かに廊下へ出て整列。並べた学級から、運動場へ向けて歩き出しました。



運動場へ集合すると、「黙って。」「列を整えて。」と、先生方の声が聞こえてきました。ほとんどの児童は、無言で静かに安全に避難することができました。

避難訓練と言っても、火災か、地震か、不審者対応かによって、避難経路や必要な持ち物などが異なります。今回は火災の訓練なので、できるだけ火元から遠ざかること、落ち着いて走らずに避難すること、煙を吸い込まないようにすること、などを学びました。場合によって煙が立ち込めているようなときには、体をかがめて低い姿勢で移動することで、少しでも有害な煙を吸い込まないようにできます。

災害は、いつも突然起こります。突然の危機に、自分で自分の身を守ることができるように、避難訓練の意義を指導していきたいと思います。